

# 小学校第6学年 国語科学習指導案

2019年11月13日(火) 5校時  
 四万十市立西土佐小学校 16名  
 指導者 白石 光

1 単元名 「読み比べて推薦しよう～戦争を乗り越えて～」(全9時間)  
 学習材 「ヒロシマのうた」(東京書籍6年)

## 2 単元について

### 育てたい資質能力

- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる力。【C(1)オ】
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むことのできる力。【C(1)カ】
- 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる力。【伝国イ(ケ)】
- 様々な情報の中から原因と結果を見出し、結び付けて捉える力。【情報活用能力】

### この単元で働かせたい見方・考え方

教材文や他作品を読む際に、登場人物同士の相互関係や心情を表す言葉に着目し、関連づけながら人物像や物語の全体像を想像する。

### 言語活動

### 教材の価値

「C読むこと」の言語活動例  
 「エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。」

#### 本単元で取り入れた言語活動

- 読み聞かせボランティアの方々に戦争の物語を推薦する文章を書く。
- ・推薦文の内容には、①主題に関わる注目して読んで欲しい文章②選んだ本とヒロシマのうたとの関連③物語の感想を書く。そのために、教材文の構造把握・精査解釈をして自分の考えを持ち、友達と交流をしたりしながら考えをさらに広げたり深めたりしていく。
- ・読み聞かせボランティアの方々に紹介するという目的意識を持って学習を進めることで、相手意識や学習に対する必要感を持つことができる。

「ヒロシマのうた」(東京書籍 6年)  
 本教材は、戦時中に「わたし」が行きずりの夫婦に託した小さな命のたどる人生が「わたし」の視点から15年間の歳月を通して描かれている。ヒロ子やその家族、そして「わたし」の生き方を通して、戦争の悲しみは心の中にいつまでも続き個人の一生に影響すること、しかし、人間は過酷な状況に負けず前向きに生きようとするものであることを捉えることができる。ヒロ子の強くたくましく生きる人間の姿を戦争の悲惨さと対比して読むことで、人間の生き方について深く考えることができる作品である。

### 児童観

○本学級の児童は、これまでに5年生の学習や6年生の国語科の「風切のつばさ」や「海のいのち」などの教材文を通じて、人物同士の相互関係や山場と物語全体の変容、主題の捉え方など様々な読み方で物語を読んでいる。本単元では、推薦文を書くために主題を捉える文章を自力で読み取ることが重要である。「海のいのち」の単元を通して、主題を捉えるために、文章の構造と内容の把握をし、自分なりの豊かな解釈をする読み方を学習した。しかし、読みの力には個人差があり、自力で内容を把握し、主題を捉えることができる児童もいるが、読みの視点や着目するポイントなどの支援が必要な児童も少なくない。原因として、長文に苦手意識があったり内容の大体を捉えにくかったりすることが考えられ、課題は様々である。

### 指導観

○第一次では、「戦争に関する本を読み聞かせボランティアの方々に推薦文で紹介する」というゴールを示す。教師のモデルを提示し、そこからどのような学習をしていくのか考え、計画を立てる。選んだ本を、誰に推薦したいか決めたり、推薦文を見せる相手にどんな反応をしてほしいか考えたりすることで、主体的に学習に取り組ませたい。

○第二次では、「ボランティアの方々に推薦文を書く」という目的意識を持って、教材文を読んでいく。まず、「時」と「場所」に着目して文章の構成を確認する。次に、①人物の相互関係②印象に残った文③他作品との共通点や相違点、という観点で教材文全文をくり返し読んでいく。教材文を読んで今回は教材文と自分の推薦したい本を並行して読んでいくため、複数の作品を同じ観点で比べて読み、作品を深く味わわせたい。また、教材文は全文シートを活用し、読んだ観点ごとに付箋を貼ったり読み取ったことを直接シートに書き込んだりして、考えを可視化する。この手立てで、既習を生かした観点ごとの読み取りを自力で行い、友達との意見交流でさらに考えを広げたり深めたりしていきたい。推薦文に関しては、読み取りと並行して徐々に書き加えていき、完成を目指す。

### 学習後に期待する児童の姿

#### 単元末に期待する姿

○物語を、人物の相互関係や心情の変化に目を付けたり、他作品とつながりを見つけたりしながら、自力で深く味わうことができるようになる。

#### 他教科や今後の生活との期待できるつながり

- シリーズ物やテーマが関係している物同士を読み比べながら、読書を楽しめるようになる。
- 情報収集をする際に複数の資料を比べて読んだり、ある観点をもとに共通や相違といった情報の分析を意識したりするようになる。

## 3 単元目標

- 本を読み聞かせボランティアの方々に推薦するために、教材文や自分の選んだ本を比べて読んだり、自分の考えを友達と交流しようとしたりすることができる。【関心・意欲・態度】
- 本や文章を読んで考えたことを交流し合い、自分の考えを広げたりまとめたりすることができる。【C(1)オ】
- 本を読み聞かせボランティアの方々に推薦するために、複数の本や文章を比べて読むことができる。【C(1)カ】
- 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。【伝国イ(ケ)】

## 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
本を読み聞かせボランティアの方々に推薦するために、見通しを持って教材文や自分の選んだ本を比べて読んだり、進んで自分の考えを友達と交流しようとしたりしている。	○本や文章を読んで考えたことを交流し合い、自分の考えを広げたりまとめたりしている。【C(1)オ】 ○複数の本や文章を比べて読み、共通点や相違点を考えている。【C(1)カ】	比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。【伝国イ(ケ)】

## 5 研究主題との関連

### 自ら学び、かかわり合い、自分の思いを表現できる児童の育成

#### ～「読み」を通して～

主体的・対話的で深い学びを実現するために、自分で推薦したい本や対象を決めたり、どの既習事項(本の読み方)が有効か判断したり、友達と自分の考えを交流したりする場面を設定したりする。

## 6 単元計画

次	時	○学習内容 ・学習活動	評価規準
			評価規準(評価方法)
1	1	○単元のゴールイメージを掴ませ、学習の見通しを持つ。 ・「だれに」「どんな反応をしてほしいか」話し合い、全体共有する。 ・教師の作成した言語活動モデルを共有し、見通しを持つ。 ・身につける力を確かめながら、単元の計画を立てる。 ・「ヒロシマのうた」を読んだ感想(疑問・詳しく読みたいところ)を書く。	◎本を読み聞かせボランティアの方々に推薦するために、どのような学習をするか考えたり教材文を読んで疑問に思ったことを書こうとしていたりしている。(ノート・発言)【関】
2	2	○時と場所に着目して教材文の内容を読み取る。 ・時系列ごとにあった内容を確認する。 ・印象に残った文章や場面について感想を書き、友達と交流する。	◎本や文章を読んで考えたことを交流し合い、自分の考えを広げたりまとめたりしている。(ノート・発言)【C(1)オ】
	3・4	○登場人物の相互関係に着目して、教材文を読む。 ・「わたし」と「ヒロ子」の心情に着目し、印象に残った文章について交流する。 ・「ヒロ子の育ての母」と「ヒロ子」の関係や、「わたし」と「ヒロ子の育ての親」の関係に着目し、印象に残った文章について交流する。	◎登場人物の相互関係を読み取ったことをもとに、印象に残った文章について考えを持つことができる。(ノート・発言)【C(1)オ】 ○比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。(ノート・発言)【伝国】
	5	○登場人物の相互関係に着目して、自分の選んだ本を読む。 ・相互関係に着目しながら読み、どの文章が印象に残ったか考える。	
	時6(本)	○教材文を読んで印象に残った文章について話し合う。 ・自分の選んだ文章とその理由を交流することで、自分の考えを広げたり深めたりする。	◎本や文章を読んで考えたことを交流し合い、自分の考えを広げたりまとめたりしている。(ノート・発言)【C(1)オ】
	7	○自分の選んだ本について、印象に残った文章について話し合う。 ・自分の選んだ文章とその理由を交流することで、自分の考えを広げたり深めたりする。	◎教材文と比べて読み、印象に残った文章について考えている。(ノート・発言)【C(1)カ】
3	8	○教材文と自分の選んだ本を比べて読み、共通点や相違点を考える。 ・「時」「場所」「主題」などの観点から比べて考える。	◎教材文と比べて読み、共通点や相違点について考えている。(ノート・発言)【C(1)カ】
	9	○推薦文の内容を交流し、学習の振り返りをする。	◎本を読み聞かせボランティアの方々に推薦するために、どのように学習に取り組んだか振り返ろうとしている。(ノート・発言)【関】

言語活動・読み聞かせボランティアの方々に戦争の物語を推薦する文章を書く。

7 本時の目標

◎印象に残った文章について、根拠を基に自分の考えを交流し、物語を読み深めることができる。

8 本時の展開 (6 / 9)

	<p>主な学習活動 ・主な児童の反応</p>	<p>□発問・指示・切り返し ◆評価規準【評価方法】 ☆支援を要する児童への手立て ○その他の働きかけ</p>
導入 (2分)	<p>1 今までの学習を想起し、本時の学習の流れを共有する。</p>	<p>□「今日は、今まで読んできたことを基に、印象に残った文章について交流しましょう。」</p>
展開 (35分)	<p>2 本時のめあてと本時のゴールのイメージを共有する。【全体】(3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>印象に残った文章や言葉とその根拠を交流し、物語を深く味わおう。</p> </div>	<p>□「自分の考えを発表するだけでなく、友達が何に注目して読んでいるのかが分かったり、新しい根拠や印象に残った文章が見つかったりすると良いですね。」</p> <p>○事前に教材の全文掲示に印象に残った文章に名前を書いた付箋を貼っておき、付箋の場所を見て話を聞きたい友達と交流する。 ☆予習してきたこと(印象に残った文章とその根拠)を交流する。 ○友達の意見を全文シートに書き込む。 ○疑問に思ったことは質問して、自分の考えやその根拠をお互いに明らかにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>交流すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印象に残った文章</li> <li>・根拠とした文章</li> <li>・感じたこと(自分や友達と比べて)</li> </ul> </div> <p>○友達の意見が自分なりに理解できるように、友だちの意見を自分の言葉で言い換えて聞き返す。(○○さんの言っていることって、・・・ってこと?)</p>
	<p>3 友達と考えを交流する。(22分) 【自分と同じところ11分・違うところ11分】 ・わたしは、「あたし、お母さんに似てますか？」の文が印象に残りました。ヒロ子は産んでくれたお母さんのことを思うと悲しいはず、会いたいと思うけど、にっこり笑って言ったこのセリフに悲しみを押し殺しているような感じがしたからです。 ・ぼくは、ヒロ子が「わたし」にししゅうをぬったところが印象に残りました。理由は、本当のお母さんを亡くして辛い思い出のはずなのに、原爆雲のかさをぬったからです。 ・わたしは、「いつまでも十五年の年月の流れを考え続けていました。」という文章が印象に残りました。「わたし」は、ヒロ子を助けて預けた日から、育ててくれたお母さんやヒロ子さんの苦悩を見守ってきました。最後は二人とも立ち直り、「わたし」はあのととき救った命が戦争を乗り越えて前向きに生きようとしていることを実感したと思ったからです。</p>	<p>□「友達と考えを交流して、新しい考えは見つかりましたか。また、発見はありましたか。」 ◆本や文章を読んで考えたことを交流し合い、自分の考えを広げたりまとめたりしている。(全文シート・ノート)【C(1)オ】</p>
まとめ (8分)	<p>5 学習の振り返りをする。 ・友達と交流して、「ヒロ子」の視点に切り替えて読んでみると、「あたし、お母さんに似てますか？」の文章が心に残りました。理由は、生んでくれたお母さんへの感謝の気持ちが伝わってきたからです。</p>	<p>○自分の考えがどう広がったり深まったりしたかを書かせる。</p>
4 他の友達と交流して気付いたことや考えたことを全体で共有する。(10分)	<p>・友達と考えを交流して、印象に残った文章は同じでも、根拠は複数あるんだと思いました。 ・登場人物の視点で考えると、印象に残る文章は変わると思いました。 ・自分が注目していなかった人物同士の関係に着目すると、今まで気にならなかった文章が大切だと実感できるようになりました。</p>	

9 評価規準

B 印象に残った文章について、根拠を基に自分の考えを交流し、物語を読み深めることができる。(ノート・発言)

・ぼくは、ヒロ子が「わたし」にししゅうをぬったところが印象に残りました。理由は、本当のお母さんを亡くして辛い思い出のはずなのに、原爆雲のかさをししゅうとしてぬったからです。

A 印象に残った文章について、妥当性のある根拠を基に自分の考えを交流し、物語を読み深めることができる。(ノート・発言)

・わたしは、「あたし、お母さんに似てますか？」の文が印象に残りました。ヒロ子は産んでくれたお母さんのことを思うと悲しいはず、会いたいと思うけど、にっこり笑って言ったこのセリフに悲しみを押し殺しているような感じがしたからです。

・わたしは、「いつまでも十五年の年月の流れを考え続けていました。」という文章が印象に残りました。「わたし」は、ヒロ子を助けて預けた日から、育ててくれたお母さんやヒロ子さんの苦悩を見守ってきました。最後は二人とも立ち直り、「わたし」はあのととき救った命が戦争を乗り越えて前向きに生きようとしていることを実感したと思ったからです。

10 板書計画

めあて

印象に残った文章とその根拠を交流し、物語を深く味わおう。

交流すること

- ・印象に残った文章
- ・根拠とした文章
- ・感じたこと(自分や友達と比べて)

交流して気付いたこと

- ・印象に残った文章は同じでも、根拠は複数ある。
- ・登場人物の視点で考えると、印象に残る文章は変わる。
- ・自分が注目していなかった人物同士の関係に着目すると、今まで気にならなかった文章が大切だと実感できるようになった。

振り返り

友達と交流して、「ヒロ子」の視点に切り替えて読んでみると、「あたし、お母さんに似てますか？」の文章が心に残った。理由は、生んでくれたお母さんへの感謝の気持ちが伝わってきたから。

言語活動  
推薦文

おとなになれなかった弟たちに...

白石 光

ぼくはひもじかたこと、弟の死は一生わすれません。

この物語は、「ヒロ子のうた」と同じように、戦争による貧困や苦勞の中、強く生きぬこうとする人々の物語です。苦しい中でも、主人公の「ぼく」やお母さんが弟のヒロキのために行動しようとするところが、「ヒロ子のうた」に出てくるお母さんや私のヒロ子への愛情に似ていると思います。だからこの物語の「ぼく」やお母さんの強い生憎に、私に心を打たれました。ぜひ読んでみてください。